

学修概要

保健学は人々が意義ある人生を営むために、疾病を予防し、健康を保持増進することを目的としている。本教科では人々の健康と密接に関連する生活環境や社会構造およびその動向について学ぶとともに、保健対策の考え方について学ぶ。

■教科書：保健生態学（医歯薬出版）

■参考書：国民衛生の動向 2016/2017（厚生統計協会）

■授業時間：金曜日 9：00～9：50（6月14日のみ）

13：00～13：50

14：00～14：50

15：00～15：50

■オフィスアワー：川戸 貴行 金曜日 17：00～18：00 (kawato.takayuki@nihon-u.ac.jp)

■授業の方法：教科書と黑板への板書で講義を進める。

■準備学習・講義項目と学修目的・到達目標の欄の記載事項について

準備学習時間：予習と復習を行うこと。

■成績評価：定期試験（100%）の結果によって評価する。

■注意事項：教科書の活用は勿論、講義内容の理解が重要である。

■実務経験：川戸貴行：現在、日本大学歯学部衛生学講座に在籍してお
歯科医師の立場から、集団における健康の保持増進と疾病
の概念について、本教科で学ぶ内容の理論がいかに実際に
されるかを学ぶ場を提供したいと考えている。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1回 4月26日 川戸 貴行	1. 保健学概論	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の概念と保健学の目的について知る。 ・保健活動の歴史的変遷について知る。 ・プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションの考え方を学ぶ。
第2回 4月26日 川戸 貴行	2. 予防の水準	<ul style="list-style-type: none"> ・疾病の自然史と予防の水準の概念について知る。
第3回 4月26日 川戸 貴行	3. 人口統計 1) 人口静態統計 <ul style="list-style-type: none"> ・指標 ・人口ピラミッド ・人口構造 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口静態統計調査について知る。 ・人口静態統計の指標（年齢3区分別人口）を理解する。 ・人口ピラミッドについて理解する。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第4回 5月10日 川戸 貴行	3.人口統計 2)人口動態統計 ・出生 ・死亡	<ul style="list-style-type: none"> 人口動態統計調査について知る。 出生・死亡統計を中心に、指標を理解する。 出生・死亡状況の推移と現状について知る。
第5回 5月10日 川戸 貴行	4.環境と健康 1)空気と健康 ・正常成分と健康影響 ・異常成分と健康影響	<ul style="list-style-type: none"> 空気の正常成分の変化と異常成分による健康影響について理解する。 健康維持のために設定されている空気成分の濃度についての基準を理解する。
第6回 5月10日 川戸 貴行	4.環境と健康 2)温熱環境 ・健康影響 ・温熱要素の測定 3)騒音と健康	<ul style="list-style-type: none"> 温熱環境に関する要因による健康影響について理解する。 温熱要素とその測定器具、方法について知る。 騒音による健康影響について理解する。
第7回 5月17日 川戸 貴行	4.環境と健康 4)上水 ・水系伝染病 ・水質基準 ・浄水法 5)下水 ・水質基準 ・処理	<ul style="list-style-type: none"> 水の汚染が原因で起こる疾病について知る。 「水道法」に規定されている水質基準について知る。 上水道における浄水の方法について学ぶ。 下水の水質基準について知る。 下水の処理法について知る。
第8回 5月17日 川戸 貴行	5.廃棄物処理 1)一般廃棄物 2)産業廃棄物 3)医療廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> 「廃棄物の処理および清掃に関する法律」に基づく廃棄物の分類および処理方法について理解する。 医療廃棄物および感染性廃棄物の処理方法について理解する。
第9回 5月17日 川戸 貴行	6.環境保全 1)公害 2)大気汚染 3)水質汚濁 4)地球環境	<ul style="list-style-type: none"> 主な公害の歴史・現状を理解すると共に環境保全対策について理解する。
第10回 5月31日 川戸 貴行	7.疫学 1)疫学要因 2)疾病頻度の測定	<ul style="list-style-type: none"> 疫学要因と疾病発生との関係について理解する。 疾病の流行状況を測定する方法を理解する。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第 11 回 5 月 31 日 川戸 貴行	7. 疫学 3) 疫学の研究方法 ・ 記述疫学 ・ 分析疫学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要因と健康事象の関係を分析するための疫学研究の方法について理解する。
第 12 回 5 月 31 日 川戸 貴行	8. 感染症 1) 概念 2) 感染症と病原体 3) 三大要因 4) 動向 5) 予防対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染の概念を知る。 ・ 主な感染症と細菌やウイルスなどの病原体について知る。 ・ 感染症の三大要因(感染源・感染経路・宿主感受性)と予防対策を理解する。 ・ 主な感染症の発生状況を知る。
第 13 回 6 月 7 日 川戸 貴行	9. 食品衛生 1) 食中毒 ・ 原因 ・ 発生状況 ・ 予防法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食中毒の原因・発生状況・予防方法について知る。
第 14 回 6 月 7 日 川戸 貴行	10. 食と健康 1) 食事摂取基準 2) 国民栄養の現状 3) 食品表示	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食事摂取基準について理解する。 ・ 国民健康栄養調査の結果から我が国の栄養摂取状況を知る。 ・ 健康に関する食品表示の種類を知る。
第 15 回 6 月 7 日 川戸 貴行	11. 生活習慣病 1) 定義 2) 要因と予防 3) 健康日本 21	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活習慣病の定義について理解する。 ・ 生活習慣病のリスク因子について理解する。 ・ 日本の健康施策の 1 つである健康日本 21 が生活習慣病対策に重点をおく背景と，施策の概要を知る。
第 16 回 6 月 14 日 川戸 貴行	12. 精神保健 1) 主な精神障害 2) 受療状況 3) 入院形態	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主な精神障害と受療状況について知る。